

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		旧田中小学校活用(稽古場整備)				所管	文化産業観光部 文化振興課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出							
		[小 柱] (2)新たな文化の創造と発信							
		[施策] ① 新たな文化の創造[19]					[事業開始]	平成 2 5 年度	
							[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等			〔法令等名〕					
	事業対象	演劇・芸能活動を行う団体及び区民一般							
	事業目的	演劇・芸能・舞踏等の公演に向けた稽古場を提供することにより、区内で行われる文化・芸術活動の支援・育成を図るとともに、利用者団体の活動を通じて、区民が芸術文化に触れる機会を創出し、本区の魅力の発信・文化の振興を図る。							
事業内容	舞台芸術活動の支援・育成を行うために、旧田中小学校の体育施設及び耐震改修工事とあわせて、演劇・芸能活動用の稽古場を整備する。								
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	整備		完了	—	—	整備		
	成果指標								
	決算額 (単位：千円)				—	—	1,345		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			—	—	1,960		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			—	—	0		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			—	—	13,465		
		総経費			—	—	15,425		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			—	—	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			—	—	0				
一般財源 (区負担額)			—	—	15,425				
前年度から改善した事項									
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	1	ステージコミッションを推進している中で、演劇等関係者から長期間使える稽古場が不足しているという意見が多数寄せられており、稽古場利用のニーズは高い。演劇・芸能活動を支援しながら、区民への芸術文化に触れる機会の創出のために平成26年度中に稽古場を整備する。						
	効率性	3	廃校になった小学校を有効活用することにより、新規に稽古場を整備する場合と比べて稽古場の整備に係るコストを削減することができている。						
	手段の適切性	3	稽古場の整備・運営にあたっては、同じ建物内の旧田中小学校体育施設(仮)の整備・運営と連携して一体的に実施していく事業手法をとっている。						
	目的達成度	4	平成27年4月の開館に向けて工事は順調に進捗している。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
平成25年度に旧田中小学校稽古場の耐震改修工事を行い、平成26年度に稽古場整備工事を実施する。工事にあたっては、同じ建物内に整備される旧田中小学校体育施設(仮)と一体的に整備することにより、効率性・手段の適切性に努めた。平成27年4月の稽古場開設に伴い本事業は平成26年度で終了する。						廃止・終了			